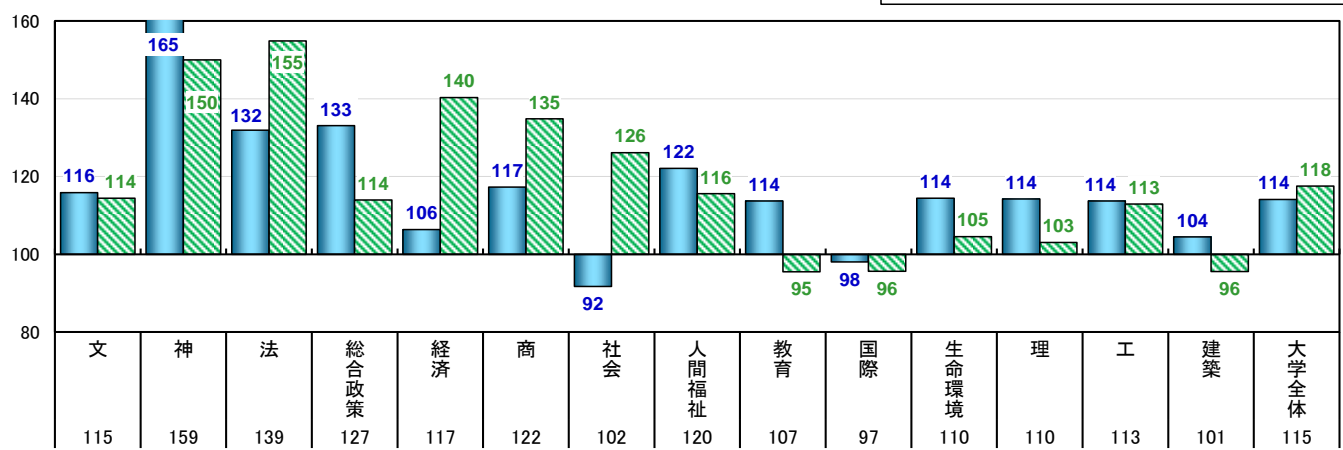


関西学院大：一般、共テ共に選抜方式の拡大で2年連続増加 一般：+3,183人 共テ：+1,937人

※前年度の志願者数を100とする指数
 ※学部名の下の数値は学部全体の指数



主な入試変更点 選抜方法：〈全学部〉…2日間とも全14学部で実施
 ※文、神、法、経済(文系型)、商、社会、人間福祉、教育(文系型)、国際は2022年度から2日間実施
 文、神、法、総合政策、経済、商、社会、人間福祉、教育、国際…〈共テ・1月7科目型〉新規実施
 生命環境、理、工、建築…〈共テ・関学数学併用3教科必須型〉廃止
 入試科目：文、神、法、総合政策、経済、商、社会、人間福祉、教育、国際〈一般・学部個別〉…外+〔(国+歴+数)→2〕→国+外+(歴 or 数)
 ※国が選択から必須に
 教育(教育/初等教育)〈一般・学部個別主体性評価方式文系型〉…外+〔(国 or 歴 or 数)→2〕+調 → 国+外+(歴 or 数)+調
 ※国が選択から必須に

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、〈全学部〉の14学部全ての2日間実施や〈共テ・1月7科目型〉の新規実施など受験生にとって利便が増す選抜方法の拡大によって、5,120人(115)の大幅増加で、2年連続増加。学部別では、コロナ禍の影響で系統への人気は低下している国際(97)を除いた13学部が増加。方式別では、一般方式は3,183人(114)の増加。特に、〈全学部〉が前述の入試機会の拡大により2,783人(119)の大幅増加。共通テストの平均点ダウンにより、難関国公立大からの併願増加も影響した。共通テスト利用方式は〈1月7科目型〉の新規実施の影響もあり、1,937人(118)の大幅増加。学部別では、14学部中11学部で増加し、特に法(155)、神(150)、経済(140)、商(135)、社会(126)、人間福祉(116)が大幅増加。

- 〈一般方式〉
- 文(116)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。専修別では、2年連続大幅減少の(文化歴史/日本史学)(78)を除いた10学科・専修が増加。特に、(文化歴史/地理学地域文化学)(162)、(文化歴史/美学芸術学)(159)は50%以上の大幅増加。
 - 法(132)は3年連続減少の反動に系統への人気の高まりも加わり大幅増加。学科別では、(政治)(142)は3年連続大幅減少の反動で大幅増加、(法律)(129)は2年連続減少の反動で大幅増加。
 - 総合政策(133)は、2年連続大幅減少の反動で大幅増加。学部全体の募集人員増加があったが、志願倍率は6.8倍→8.4倍にアップ。
 - 経済(106)は、3年連続減少の反動は小さくやや増加に留まった。方式別では、〈全学文系〉(113)の増加が目立った。
 - 商(117)は、大幅増加で、前年度の反動による増減が継続。方式別では、〈英数型〉(171)が前年度大幅減少かつ3年連続減少の反動で激増。
 - 社会(92)は、系統への低い人気も影響して5年連続減少。方式別では、3方式全てが減少で、特に〈英数型〉(54)はほぼ半減。
 - 人間福祉(122)は、3年連続大幅減少の反動で大幅増加。学科別では、(社会起業)(183)は3年連続大幅減少の反動で激増、(人間科学)(122)は3年連続減少の反動で大幅増加。(社会福祉)(97)はやや減少で4年連続減少。
 - 教育(114)は、4年連続減少の反動で増加。学科・コース別では、3学科・コース全てが前年度と逆の増減で、(教育/教育学)(90)は2年連続減少、他の2コースは大幅増加で、(教育/幼児教育)(121)は2年連続増加。
 - 国際(98)は、コロナ禍の中で系統への人気は低下しており、微減だが2年連続減少で、志願者数は900人を下回った。方式別では、〈全学英語〉(83)は大幅減少。
 - 生命環境(114)は、改組2年目で増加。学科・専攻別では、(生物科学)(131)、(環境応用化)(129)、(生命医科学/発生再生医科学)(124)はいずれも大幅増加。一方で、(生命医科学/生命医科学)(72)は大幅減少。
 - 理(114)は、改組2年目で増加。3学科全てが増加で、特に(数理科学)(122)、(物理・宇宙)(115)が大幅増加。
 - 工(114)は、改組2年目で、系統への人気の高まりも影響して増加。課程別では、4課程中3課程が増加、特に(電気電子応用)(165)が激増、(物質工)(134)が大幅増加。
 - 建築(104)は、改組2年目でやや増加。方式別では、〈英数型〉(82)のみ大幅減少。

- 〈共通テスト利用方式〉
- 文(114)は、増加で3年ぶりに増加。ただし、新設の〈共テ・1月7科目型〉を除くと、(70)の大幅減少。専修別では、(文化歴史/哲学倫理学)(189)、(文化歴史/美学芸術学)(175)、(文学言語/フランス文学フランス語学)(170)は激増、一方で(文化歴史/西洋史学)(80)、(文学言語/英米文学英語学)(84)は大幅減少。
 - 法(155)は、3年連続減少の反動と系統への人気の高まりから大幅増加。学科別では、2学科とも大幅増加で、(法律)(156)は2年連続減少の反動で50%以上の大幅増加、(政治)(148)は2019年度から3年連続大幅減少の反動で大幅増加。

- 総合政策(114)は、3年連続減少の反動で増加。方式別では、〈共テ・数学併用型〉(146)が大幅増加。
- 経済(140)は、4年連続減少の反動で大幅増加。
- 商(135)は、3年連続減少の反動で大幅増加。
- 社会(126)は、4年連続減少の反動で大幅増加。
- 人間福祉(116)は、3年連続減少の反動で大幅増加。学科別では、(社会起業)(159)は3年連続大幅減少の反動で大幅増加。一方で、(人間科学)(98)の微減だが4年連続減少。
- 教育(95)は、前年度大幅増加の反動は小さくやや減少。学科・コース別では、(教育／初等教育)(109)のみ増加で2年連続増加。一方で、(教育／幼児教育)(81)は大幅減少、(教育／教育科学)(89)は前年度大幅増加の反動で減少。
- 国際(96)は、コロナ禍の中で系統への人気は低下しており、やや減少だが5年連続減少。
- 生命環境(105)は、改組2年目でやや増加。学科・専攻別では、(環境応用化学)(156)が50%以上の大幅増加。一方で、(生命医科学／生命医科学)(53)、(生命医科学／医工学)(68)はいずれも大幅減少。
- 理(103)は、改組2年目でやや増加。学科別では、(化学)(90)のみ減少。
- 工(113)は、改組2年目で増加。課程別では、(知能・機械工)(96)のみがやや減少で、他の3課程は増加。特に、(電気電子応用工)(155)、(物質工)(137)は大幅増加。
- 建築(96)は、改組2年目でやや減少、志願者数は600人を下回った。